

**クライマテリア メタリアート
ラスティ**

(不燃認定取得商品名：メタリアートセット A)

**施工の手引き
(JP 施工店会 限定仕様)**

【初版】令和2年 5月

**アイカ工業株式会社
化成品カンパニー**

＜使用材料＞不燃認定取得商品名「メタリアート セット A」

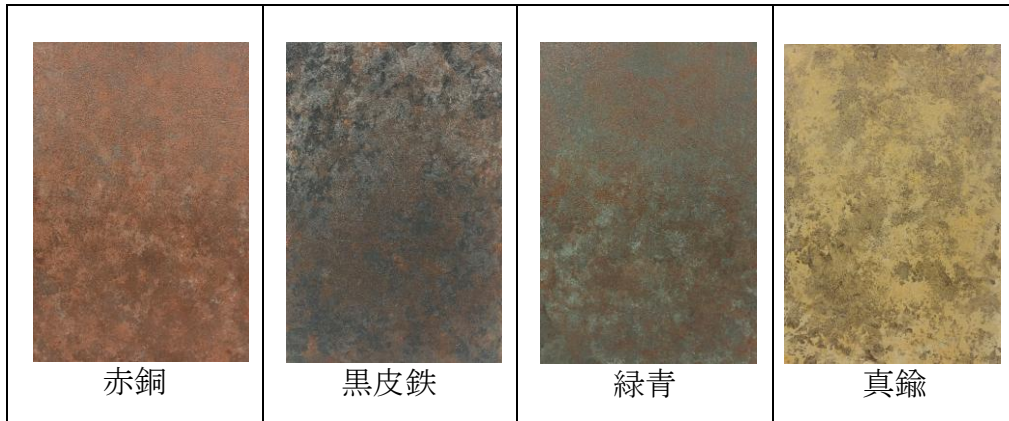
材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー	18kg/缶	約514㎡/缶
	ジョリパットシーラー JS-90	1液水系アクリルシーラー	10kg/缶	約142㎡/缶
	セーフシーラー JS-800	1液水系カチオンシーラー	16kg/缶	約228㎡/缶
主 材	主材1(ベース：B) クライマテリア メタリアート JM-95 MT-1, 2, 5, 6 (MT-1, 2, 5, 6は色番号)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ ハール缶	約20㎡/缶
	主材2(トップ：T) クライマテリア メタリアート JP-90 MT-1, 2, 5, 6 (MT-1, 2, 5, 6は色番号)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ ハール缶	約66㎡/缶
	主材3(フィニッシュ：F) クライマテリア メタリアート JC-95 MTB, MTC, MTG (MTB, MTC, MTGは色番号)	水系アクリル	各色5kg/缶	1色目：約250㎡/缶 2色目：約250㎡/缶

＜色品番について＞

各塗材の色品番は下記使用塗材一覧及び塗板写真をご確認ください。

＜使用塗材一覧＞

	主材1	主材2	主材3 1回目	主材3 2回目
赤銅	JM-95MT1	JP-90MT1	JC-95MTB	JC-95MTC
黒皮鉄	JM-95MT2	JP-90MT2	JC-95MTC	JC-95MTB
緑青	JM-95MT5	JP-90MT5	JC-95MTC	JC-95MTB
真鍮	JM-95MT6	JP-90MT6	JC-95MTB	JC-95MTG



クライマテリア メタリアートは標準塗布量・施工方法に準拠して施工した場合でも、施工者によって仕上がりに差が生じる可能性のある仕上げになります。施工前には、必ず実際の施工者がコンパネ等で見本を作製し、施主等の承認の上で施工を進めて下さい。

<不燃認定について>

クライマテリア メタリアート ラスティは下記の商品名で不燃認定を取得しています。必ず弊社仕様に準拠し、施工して下さい。

商品名：メタリアート セットA

<主な施工道具>

- ・ 金ゴテ
- ・ 電動サンダー
- ・ 海綿ローラー (JR-225H：ヘッドのみ)

<下地調整>

石膏ボード、モルタル金ゴテ押さえ(平滑)など

＜クライマテリア メタリアート ラスティ施工方法＞

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-90 の場合

配 合	JS-90	10kg
塗 布 量	0.07kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1" JS-800 の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.07kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材1 (ベース : B)

配 合	JM-95	20kg
塗 布 量	1.0kg/m ²	
施工方法	ステンレス製コテにて平滑に塗布する。 表面をコテでランダムに押さえるように 仕上げる。	

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材2 (トップ : T)

配 合	JP-90	20kg
	清 水	2ℓ
塗 布 量	0.3kg/m ²	
施工道具	中毛ローラー、ステンレス製コテ、ヘラ	
施工方法	中毛ローラーで配り塗りした後、コテ (ヘラ)にて余分な材料をかき取る。	

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。
(目安 : 12h以上)

4. サンディング

施工道具	電動サンダー(#120~#80)
施工方法	仕上がりをイメージしながら研磨する。 ある程度研磨したら都度濡れウエスで 表面を拭き、仕上がりを確認する。

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。
(目安：12h以上)

5. 主材3 (フィニッシュ：F)
1回目

配 合	J C-95 MTBまたはMTC 5kg
塗 布 量	0.02kg/m ²
施工道具	海綿ローラー (JR-225H)
施工方法	施工のポイント参照(図1、写真1-3)

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。
(目安：4h以上)

6. 主材3 (フィニッシュ：F)
2回目

配 合	J C-95 MTBまたはMTCまたはMTG 5kg
塗 布 量	0.02kg/m ²
施工道具	海綿ローラー (JR-225H)
施工方法	施工のポイント参照(図1、写真1-3)

<施工のポイント>

○主材3 1回目塗装

- ・海綿ローラー (JR-225H) を用い全体の約50%が塗装されることを目安に塗装する。
(写真1)
- ・海綿ローラーはJC-95をしごいた状態で壁面に軽く当てて転がし、塗装された部分に2、3回ローラーを転がし、樹脂溜まりをできるだけなくす。(写真2、3)
- ・樹脂溜まりが生じた場合は、ウエス等でたくように拭き取る。
- ・海綿ローラーは十字を切るように塗装せず、×を描くようにラップさせつつ動かして塗装する。(図1)



写真1. 主材3 1回目塗装終了時の仕上がり (目安) * 黒皮鉄



写真2. 樹脂溜まりの例 (このような樹脂溜まりをできるだけ無くす)



写真3. 海綿ローラーでかきとった後
(ローラーにJC-95があまりついていない状態で転がして、樹脂を少しかきとる)

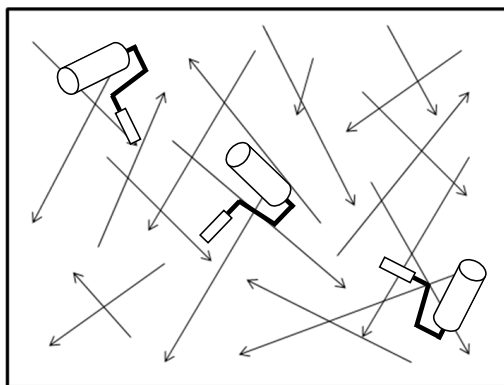


図1. 海綿ローラーの転がし方（例）

○主材3 2回目塗装

- ・海綿ローラー（JR-225H）を用い全体の約90%が塗装されることを目安に（2回の主材3塗装による塗り残しが全体の10%未満になることが目安）塗装する。（写真4）
- ・主材3 1回目塗装時と同様に、海綿ローラーはJC-95をしごいた状態で壁面に軽く当てて転がし、塗装された部分に2、3回ローラーを転がし、樹脂溜まりをできるだけなくす。（写真2、3）
- ・樹脂溜まりが生じた場合は、ウエス等でたくように拭き取る。
- ・海綿ローラーは十字を切るように塗装せず、×を描くようにラップさせつつ動かして塗装する。（図1）



写真4. 主材3 2回目塗装終了時（完成時）の仕上がり（目安）* 黒皮鉄

<施工の注意事項>

- ・施工場所の気温が5℃未満、湿度85%以上の場合、施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行い、気温5℃以上、湿度85%未満として下さい。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。また、事前に見本板でも仕上がり等の確認を行って下さい。

- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めて下さい。
- ・施工の際は臭気等のトラブルを防ぐため、事前に近隣への案内等に配慮して下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤等で有機溶剤が含まれる場合は、特に防毒マスクを着用して下さい。また、必要に応じて保護メガネ、保護手袋を着用下さい。
- ・器具を洗浄した水を河川、側溝への放流は避けて下さい。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。
- ・施工する際は下地表面に結露(濡れ)が無い事を確認した上で施工して下さい。
- ・施工前にコンパネ等で十分に施工方法の感覚を身につけてから実際の施工に移って下さい。また、できるだけ同じ作業者が施工するようにして下さい。
- ・施工する色によって、使用する材料の色品番が異なりますので、ご注意下さい。
- ・JC-95は必ず使用前に攪拌機等でよく攪拌して下さい。未攪拌で使用すると仕上がり不良の原因になります。また、JC-95は冬場に凍結するおそれがあります。必ず5℃以上の環境で保管して下さい。
- ・クライマテリア メタリアートはパターンによって、各塗材の塗布量が異なります。不燃認定に関わりますので、塗布量をよくご確認の上、施工して下さい。特に、主材3（JC-95）の塗布量にご注意下さい。

以上